

山梨県子ども読書支援センター 2024.3

子ども読書支援センターは、子どもの読書に関わる大人の方々をサポートする山梨県立図書館の機能です。当センターの事業や活動内容についてご紹介します。



## バリアフリー図書を集めた「りんごの棚」ができました！



### ◆りんごの棚◆



【りんごの棚にあるバリアフリー図書】 ※詳しくはホームページをご覧ください。



「りんごの棚」のページ

- (1) 点字つき絵本・さわる絵本 …点字（指でさわって読む文字）つきの絵本です。
- (2) 大きな文字の本（大活字本） …大きな文字で書かれた本です。
- (3) LLブック（わかりやすい本） …やさしい言葉でわかりやすく書かれた本です。
- (4) 布の絵本 …布でできた絵本です。絵や文字がアプリケなどで作られ、さわって物の形を確かめることができます。
- (5) 手話つきの本 …手話や指文字がイラストで紹介された本です。

## 第4回・第5回子どもの読書オープンカレッジを開催しました。

「子どもの読書オープンカレッジ」は、山梨大学附属図書館子ども図書室との共催で、年5回開催している、子どもの読書について学ぶ初心者向けの講座です。

第4回は12月15日（金）に、「子どもにとって本とは何か？～手渡すために考えること～」と題して、編集者で、白百合女子大学非常勤講師の細江幸世氏にご講義いただきました。

子どもの読解力・聴解力の発達と読書の関係や、本を読むことの意義などについてご説明いただきました。受講者から「ディスレクシアのことがわかった」「紹介された本を学校でのおはなし会で使いたい」などの声が寄せられました。



### ◆細江幸世氏◆



### ◆酒井京子氏◆

第5回は1月25日（木）に、「紙芝居のすてきな世界～その理論と演じ方～」と題して、紙芝居文化の会代表・童心社会長の酒井京子氏に実演を交えてご講義いただきました。

受講者からは「紙芝居について学ぶ機会が少なくとても勉強になった」「紙芝居の演じ方の基本を知ることができた」などの声が寄せられました。

本や紙芝居を子どもたちに届ける活動をされているお二人の講義を受け、本や紙芝居に込められた思いを、子どもたちに伝え活かしてもらうために必要な知識や技術を学ぶことができました。

## 中学生におすすめの本のPOPを作りました。



ブックリスト「いいね！の本棚 ～中学生編～」で紹介している本の中から、イチオシの8冊を紹介する本のPOPを作成しました。イラストやキャッチコピーを用いて、本のおすすめポイントをわかりやすく紹介しています。

- POPは県立図書館ホームページにて公開しています。

学校、学校図書館、公共図書館、書店の方へ  
POPはダウンロード・印刷が可能です。  
展示など、ご自由にお使いください。



- POPと本を県立図書館1階ティーンズコーナーで展示中です。

展示期間 8月30日（金）まで

- 山梨県立図書館ホームページ  
「ティーンズページ<中高生におすすめの本>」



「中高生におすすめの本」  
のページ

## 第3回・第4回 子どもの読書指導者養成講座を開催しました。

子ども読書支援センターでは、子どもの読書活動の実践を行う人たちに専門的助言や技術的な指導を行う人材を育成するため、年間全4回の「子どもの読書指導者養成講座」を開講しています。

第3回は12月20日（水）に、「乳幼児のための読み聞かせ・わらべうた」と題して、千葉大学・日本女子大学・山梨英和大学等非常勤講師の伊藤明美氏にご講義いただきました。

前半は、読み聞かせが乳幼児の発達や親子の愛着関係にどのように影響するかや、乳幼児向け絵本の選び方のポイントについて教えていただきました。後半は、0歳～2歳向けのわらべうたを、子どもたちの反応について触れながら、実践的に教えていただきました。

受講生からは、「乳幼児向けのおはなし会にとっても参考になる内容だった」「子どもの発達との関わりについて教えてもらえてよかった」「わらべうたの魅力を改めて感じた」などの声が寄せられました。



◆伊藤明美氏◆



◆宮澤優子氏◆

第4回は1月17日（水）に、「学校図書館の捉えなおし ～未来を生きる子どもたちのための学校図書館とは～」と題して、長野県高森町立高森北小学校・高森町子ども読書支援センターの司書の宮澤優子氏にご講義いただきました。

GIGAスクール構想の下、公共図書館と連携して効率的・効果的な学校図書館サービスを実現し、デジタル資料の積極的な活用を行っている高森北小学校のさまざまな取組についてご紹介いただきました。

受講生からは、「今の教育現場や学校図書館で、デジタル教材やデジタル資料が驚くほど活用されているとわかった」「所属する自治体で、学校図書館と公共図書館の連携システムが実現してほしい」などの声が寄せられました。